



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日
東

上場会社名 NCホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6236 URL http://www.nc-hd.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村田 秀和 (TEL) 03-6859-4611
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,019	12.0	273	—	405	—	201	—
29年3月期第3四半期	7,157	—	△87	—	△61	—	△214	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 639百万円(—%) 29年3月期第3四半期 37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	31.46	—
29年3月期第3四半期	△33.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,182	7,851	51.7
29年3月期	12,452	7,588	58.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,851百万円 29年3月期 7,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	28.7	400	113.9	400	70.2	250	—	38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,416,046株	29年3月期	6,416,046株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	823株	29年3月期	451株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,415,465株	29年3月期3Q	6,415,718株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策効果による個人消費の穏やかな回復や、設備投資の伸びが顕著になったことなどにより、企業収益や雇用環境の改善が継続し、堅調に推移しました。海外の経済情勢も、北米、欧州、アジアともに総じて安定的な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、発電所向けコンベヤ設備等の受注により受注高は11,452百万円(前年同四半期比26.3%増)となり、コンベヤ設備、立体駐車場設備の新設納入やメンテナンスが堅調に推移したことにより、売上高は8,019百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。損益面につきましては、コスト削減、経費の圧縮など徹底した合理化を推進しました結果、営業利益は273百万円(前年同四半期営業損失87百万円)、受取配当金、有価証券売却益等を加えた経常利益は405百万円(前年同四半期経常損失61百万円)、法人税等、非支配株主に帰属する四半期純利益を差引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円(前年同四半期純損失214百万円)となりました。

セグメント別の状況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔コンベヤ関連〕

コンベヤ関連では、国内石炭火力発電所向、土木関連設備用のコンベヤ設備、保守部品等の受注、納入により、受注高は6,789百万円(前年同半期比195.5%増)、売上高は2,323百万円(前年同四半期比41.8%増)、セグメント損失は90百万円(前年同四半期セグメント損失396百万円)となりました。

〔立体駐車装置関連〕

立体駐車装置関連では、新設立体駐車装置が減少したことにより受注高は4,025百万円(前年同半期比26.8%減)、商業施設、マンション向けなどの新規設備納入、メンテナンスともに堅調に推移したことにより売上高は5,008百万円(前年同四半期比13.9%増)、受注採算の改善等によりセグメント利益は483百万円(前年同四半期比20.5%増)となりました。

〔人材派遣関連〕

人材派遣関連では、売上高は257百万円(前年同四半期比12.6%減)、セグメント利益は7百万円(前年同四半期比セグメント損失1百万円)となりました。

〔太陽光発電システム関連〕

太陽光発電システム関連では、機器販売が大幅に減少したことにより受注高は379百万円(前年同四半期比63.5%減)、売上高は431百万円(前年同四半期比51.7%減)、セグメント損失は28百万円(前年同四半期セグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,729百万円増加の15,182百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が802百万円、開発事業等支出金が1,217百万円増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度と比較して2,467百万円増加の7,330百万円となりました。主な内訳は、短期借入金が2,130百万円、前受金が497百万円増加したことによるものです。純資産は、前連結会計年度と比較して262百万円増加の7,851百万円となりました。主な内訳は、非支配株主持分は279百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が399百万円、親会社株主に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が201百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく経済環境は、米国をはじめ世界経済の回復による好調な企業収益を背景として、雇用所得環境が改善するとともに、底堅い個人消費や設備投資の持ち直しにより穏やかな回復基調が続きましたが、当社におきましては、コンベヤ事業、太陽光発電事業は赤字を計上するなど経営上の課題も残っております。そこで当社では、抜本的な対策として事業再構築の検討に着手しました。つきましては、当該再構築に必要とされる内部留保をできるだけ厚く確保する目的で、平成29年5月12日に発表しました配当予想を修正しております。詳細については、本日発表の「平成30年3月期（第2期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,121,957	3,924,918
受取手形及び売掛金	4,352,775	4,250,613
仕掛品	426,839	590,051
原材料及び貯蔵品	458,798	430,612
開発事業等支出金	-	1,217,423
その他	599,099	731,295
貸倒引当金	△20,837	△20,244
流動資産合計	8,938,633	11,124,671
固定資産		
有形固定資産	1,220,582	1,174,055
無形固定資産	67,543	79,348
投資その他の資産		
投資有価証券	1,866,976	2,416,513
その他	414,259	443,617
貸倒引当金	△55,589	△56,027
投資その他の資産合計	2,225,646	2,804,104
固定資産合計	3,513,772	4,057,508
資産合計	12,452,405	15,182,180
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,208,009	2,153,461
短期借入金	170,000	2,300,000
未払法人税等	125,031	21,151
前受金	188,848	686,461
賞与引当金	50,145	19,556
完成工事補償引当金	66,911	70,175
工事損失引当金	366,400	182,600
その他	365,275	401,035
流動負債合計	3,540,621	5,834,441
固定負債		
退職給付に係る負債	704,172	714,167
その他	618,629	782,140
固定負債合計	1,322,802	1,496,308
負債合計	4,863,423	7,330,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,800,000	3,800,000
資本剰余金	1,280,723	1,221,755
利益剰余金	1,670,052	1,871,903
自己株式	△504	△818
株主資本合計	6,750,271	6,892,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	473,887	873,252
土地再評価差額金	85,337	85,337
その他の包括利益累計額合計	559,224	958,589
非支配株主持分	279,486	-
純資産合計	7,588,981	7,851,430
負債純資産合計	12,452,405	15,182,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,157,440	8,019,863
売上原価	5,924,189	6,456,367
売上総利益	1,233,250	1,563,495
販売費及び一般管理費	1,321,049	1,290,392
営業利益又は営業損失(△)	△87,798	273,102
営業外収益		
受取利息	680	537
受取配当金	24,193	41,304
有価証券売却益	39,214	99,851
その他	10,917	11,484
営業外収益合計	75,004	153,177
営業外費用		
支払利息	10,089	13,091
創立費	16,521	-
為替差損	9,551	-
その他	12,283	7,747
営業外費用合計	48,446	20,839
経常利益又は経常損失(△)	△61,240	405,441
特別損失		
固定資産廃棄損	6,017	1,911
特別損失合計	6,017	1,911
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,258	403,530
法人税等	121,051	161,735
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,309	241,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,456	39,942
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△214,766	201,851

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,309	241,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225,507	397,422
その他の包括利益合計	225,507	397,422
四半期包括利益	37,197	639,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,771	601,294
非支配株主に係る四半期包括利益	29,426	37,921

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	人材派遣 関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	1,638,474	4,397,235	228,488	893,242	7,157,440	—	7,157,440
セグメント間の内部売上 高又は振替高	585,996	—	80,276	—	666,272	△666,272	—
計	2,224,470	4,397,235	308,764	893,242	7,823,713	△666,272	7,157,440
セグメント利益又は損失(△)	△396,937	401,403	△1,101	△1,416	1,948	△89,747	△87,798

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△89,747千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	人材派遣 関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	2,323,061	5,008,160	257,364	431,276	8,019,863	—	8,019,863
セグメント間の内部売上 高又は振替高	778,969	—	84,831	—	863,801	△863,801	—
計	3,102,031	5,008,160	342,195	431,276	8,883,664	△863,801	8,019,863
セグメント利益又は損失(△)	△90,690	483,742	7,684	△28,994	371,741	△98,638	273,102

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

販売及び受注の状況

(1) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	2,323,061	+41.8
立体駐車装置関連	5,008,160	+13.9
人材派遣関連	257,364	+12.6
太陽光発電システム関連	431,276	△51.7
合計	8,019,863	+12.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	6,789,750	+195.5	9,798,691	+73.6
立体駐車装置関連	4,025,643	△26.8	6,589,359	△21.0
人材派遣関連	257,364	+12.6	—	—
太陽光発電システム関連	379,749	△63.5	113,777	△71.1
合計	11,452,507	+26.3	16,501,828	+14.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。